



キャッサバ(芋)掘りでカメラを向けられるアリス！（ザンビア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さんの心からの御支援、いつもありがとうございます。

ザンビア孤児院の桜子さんより連絡があり、先日、日本のテレビ番組の収録が行われたそうです。さらに、もう1社からも取材の申し出があり、色々な方たちで、私どもの働きを紹介できる機会が与えられてきているのを聞き、大変うれしく思いました。ぜひ多くの方々に「礎の石孤児院」の働きを知って頂き、1人でも多くの方に、ご理解、御協力願えればと思います。というのも、働きの進展に伴い、カンボジア孤児院をはじめ、各孤児院への送金額が不足している現状となり、特にカンボジア孤児院では、運営に支障を来たしかねない状況が続いています。事務局の方からも、皆さんのところへ、緊急の御支援お願いを送らせていただきましたが、必要が大きく、まだ十分とは言えないのが現状です。いつも御支援、御協力をして頂いている上のさらなるお願い、大変恐縮ですがぜひご理解、御協力願えれば、これほど有難いことはありません。何卒、皆さまからの御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。今年は総選挙の影響で、例年より早くそれぞれの学校が休みに入りました。今回は、子ども達も自分達なりの考えに立って選挙の状況を興味深く見えています。選挙の公式発表（8月9日現在）はまだですが、カンボジアの政情がさらに安定する事を皆で祈り願っているところです。7月後半頃、子ども達が通っている学校の中高生の生徒が帰宅途中に殺害されオートバイや金品を盗まれるという、ショッキングな事件が起きました。経済発展が著しい反面、娯楽や遊興に走る若者が増加しており、その為に使う資金調達方法として犯罪も増加しています。孤児院の子ども達がいろいろな誘惑や危険等から守られて、将来の為に必要な学びと備えが継続して出来るようにと願っています。



子ども達の書いた絵！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。8月に入り雨が多くなってきました。今月ダバオではカダヤン祭りが行われます。その中で人々が楽しみにしているのは、「INDAK INDAKU KADAYAN」というテンポの速いダンスです。ダバオ市政府は、市内のすべての小学生及び高校生を競技会に招待しました。サラ・ジェインが通っているカタルナン ペクエーノ高校はこの競技会に参加することになり、サラ・ジェインは8月16日、17日に行われるこのストリートダンスの競技会に出場します。8月17日～19日と28日～30日には、今期、初めての学年テストがあります。このために子どもたちが必要な知識と知恵を得られるように願っています。皆様のご支援、特に経済的なサポートを心から感謝致します。引き続き、フィリピン孤児院のために皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



荷物を片付けているこどもたち。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝申し上げます。ザンビアは、まだまだ寒い日が続いています。7月の中旬に、「世界、なぜそこに日本人」という番組から、6日間の取材を受けました。取材内容はルサカ孤児院、カセンガ孤児院での生活の様子でした。子どもたちも、それぞれインタビューを受けました。いったい何を話したのやら、見当もつかず、この目で放送を見ることを楽しみにしています。ザンビアで孤児院が開設されてから、しばしの年月が経ちました。このような形で、皆様に私たちの様子を知って



取材を受けている桜子スタッフ！

いただけるようになるとは…驚きと、深い喜びで一杯です。孤児院へ来た当初、子どもたち全員がとても小さく、そして全く英語を話せませんでした。その子どもたちが現在、学校の地域のリーダーとして育ちつつあります。これからも、まだまだわたしたちのお世話と愛情を必要としている子どもたちですが、今までの働きの総集編、9月に放送予定です。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。ブラジルでは8月に入り、新学期が始まりました。今週は、しばらくお休みしていた日本語教室を再開しました。カレンダー上ではブラジルは現在、真冬ですが、一週間ほど寒い日々があっただけで、真夏かと思われるような天気です。最近、サイコ・サイバネティクス（「自己像」）という学びをしました。理解するためインターネットで調べていたところ、私が知りたいと思っていた子供たちの一般的な成長の過程を学ぶ領域は、発達心理学であることがわかりました。さらにどういった外的要因が健全な子供の成長を妨げるのかなどを調べたいと思いました。以前ポルトガル語に訳した「日本の児童養護施設設立のための寄付のお願い」のパンフレットを、3月8日に福島県郡山市に土地購入できた旨を追加して、新たに作成しました。身近な人々から手渡し始めています。



日系定食屋さんでの松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>